

北海道旭川盲学校



校長 宮 岸 尚 平

幼児児童生徒数 9名

学 級 数 5学級

職 員 数 34名



— 魅力あふれ子ども・保護者・地域から選ばれる学校づくり —

学校教育目標「自ら学び、考えを深めあげ、自らの人生を切り拓いていく子ども」の育成を目指し、幼児児童生徒の見えない、または見えづらさのある障がいに寄り添い、将来の自立や社会参加を目指し、一人一人の発達の段階に応じた教育に取り組んでいる。

大正11年の創立以来、長年にわたり上川以北の道北全域とする広大な校区における唯一の盲学校として視覚障がい教育を担い、令和4年度（2022年度）創立100周年を迎えた。



— 地域の視覚障がい教育のセンター的役割 —

自校に在籍する児童生徒の指導や支援はもとより、道北地域全体に対して乳幼児期から成人に至る幅広い年齢層を対象にした視覚障がいに関する来校と訪問による教育相談や指導者・支援者への研修会の開催等を継続的に行ってきました。

特に、近年は、視覚障がい教育の専門性を活かし、視覚障がいに加え、発達障がいの児童生徒の読み書きへの相談に対応し、大きな成果を上げている。



— 見えづらさに応じたＩＣＴ支援機器の活用と実践 —

1人1台端末を効果的に活用し、道教委事業HANDS-ON-Projectでの道内盲学校との遠隔授業交流や視覚障がいのある児童生徒の見えにくさに応じた教科書・教材閲覧アプリケーションを利用した授業実践等、ＩＣＴを活用した教育活動に積極的に取り組んでいる。

また、アプリケーション等を活用した指導の方策は、パートナー・ティーチャー派遣事業等を通じ、地域の小・中学校等に還元するなどその実践は高く評価されている。



— 子どもたち一人一人と家族の心に寄り添い教育活動を推進 —



私の息子は双子で未熟児として生まれ、全盲となりました。これからどうすればよいかわからず悩んでいたときに、旭川盲学校と出会いました。その後、教育相談の期間を含めて10年以上お世話になってきました。先生方と出会い御指導を受けたことは、息子と私たち家族にとってかけがえのない財産です。学校全体が「チーム旭盲」となっている北海道旭川盲学校は本当に素晴らしい学校であると感じています。（保護者の声）